

日頃の心がけが大切！



～中央町自治会第18回防災訓練～



全世帯に配られている無事を知らせる小旗。避難訓練に参加できない人も掲げます。



避難した人は受付で自分のカードを取り出し提出します。

城下自治会長の話

「災害時に行動できるようにするためには何度も繰り返し訓練をすることが大切。そして、このような訓練を通して町内の顔見知りを作っておくことが災害時に役立ちます。」



毛布で担架を作り搬送訓練。



スーパーの買物袋で三角巾の代用を作成。



炊き出し訓練で提供された無洗米のご飯と漬物と味噌汁。



訓練を終えて炊き出し食を全員でいただきました。
美味しかったです！！



11月10日(日)、中央町自治会の第18回防災訓練が町内のウエタケ駐車場で行われました。この日の参加者は31名。受付で避難の確認をした後に町内を4区分して担当者が二人一組で「無事」の旗が掲げられているか見て回りました。76世帯中36世帯で「無事」の旗が掲げられていることが確認できました。

中央町では年2回の防災訓練で災害時に役立つ訓練を毎回行っており、今回は毛布で作る担架とスーパーの買物袋で作る三角巾の作り方を学びました。緊急グッズを身近な物で作れることにみなさん感心していました。

訓練に参加することで顔なじみになり、日頃も災害時もお互いに助け合える安心して暮らせる町になることを期待しています！

